

「教員が子どもと向き合える教育環境の整備について（コグトレ）」  
～北九州ステップアップメソッド（コグトレ）～

1 コグトレ（コグニティブ・トレーニング）の概要

対人スキルの向上（社会面）、基礎学力の土台づくり（学習面）、不器用さの改善（身体面）の3方面から、子どもたちへの支援を行うもの

2 事業内容

- 学級全体で取り組むことができるプログラムとして位置付け、学びの内容や方法について共有・共感する気持ちを高め、多様性の理解を進める。
- 実践協力校6校を中心に3年間の研究を推進し、コグトレを用いた本市独自のメソッドを完成し、本市の学校に広める。

3 関係機関

- 北九州市教育委員会 コグトレプロジェクトチーム
- 広島大学研究チーム 代表者 <sup>みやぐちひでき</sup> 宮口英樹教授
- 実践協力校6校 小学校(田野浦、城野、木屋瀬、竹末)  
中学校(早鞆、菊陵)

4 研究期間

令和3年4月1日から令和6年3月31日まで（3年間）

5 成果

- 市内の学校におけるコグトレ実施状況の広がり
- 本市独自のアセスメントシートの完成
- コグトレ活用に係る資料及びコンテンツの充実



<コグトレ活用ハンドブック>

6 研究終了後の方向性

- ① 教育センターによるコグトレ研修の継続
- ② 学校力向上支援訪問を活用した支援の継続
- ③ コグトレ活用研究推進部会による支援の継続



持続可能な北九州市独自の教育支援モデルの実現へ

誰一人取り残さない

# 北九州ステップアップメソッド (コグトレ)



1

コグトレとは

取組の紹介

成果物紹介

今後の方向性

## 流れ

1. コグトレとは
2. 取組の紹介
3. 成果物紹介
4. 今後の方向性



※ 発表資料の個人を特定できる画像等は、全て本人の了承を得ています。

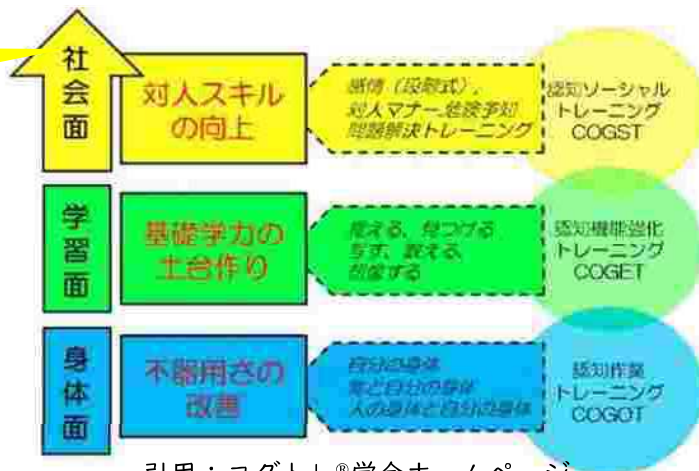
2

## (1) コグトレの構成

注意、記憶、言語理解、知覚、推論・判断

コグトレ (Cog-Tr) とは、認知機能の向上を目指すトレーニングです。「社会面」「学習面」「身体面」の3方面で構成されています。

子どもの困り感



引用：コグトレ®学会ホームページ  
URL：<https://cog-tr.net/cogtr/>

## (2) 学習の土台となる力と教科の関連性

例えば...



「今から黒板に算数の問題を5問書きますから、ノートに写して、解いてください。まず・・・」

指示や話を  
聞く力

聞き取ったことを  
覚える力

問題を正確に  
写す力

問題を解く力

## (2) 学習の土台となる力と教科の関連性

各教科

国語

社会

算数  
数学

理科

英語

指示や話を  
聞く力

数を正確に  
数える力

登場人物の気持ちを  
想像する力

共通点や相違点を  
見つける力

聞き取ったことを  
覚える力

文字や図を正確に  
写す力

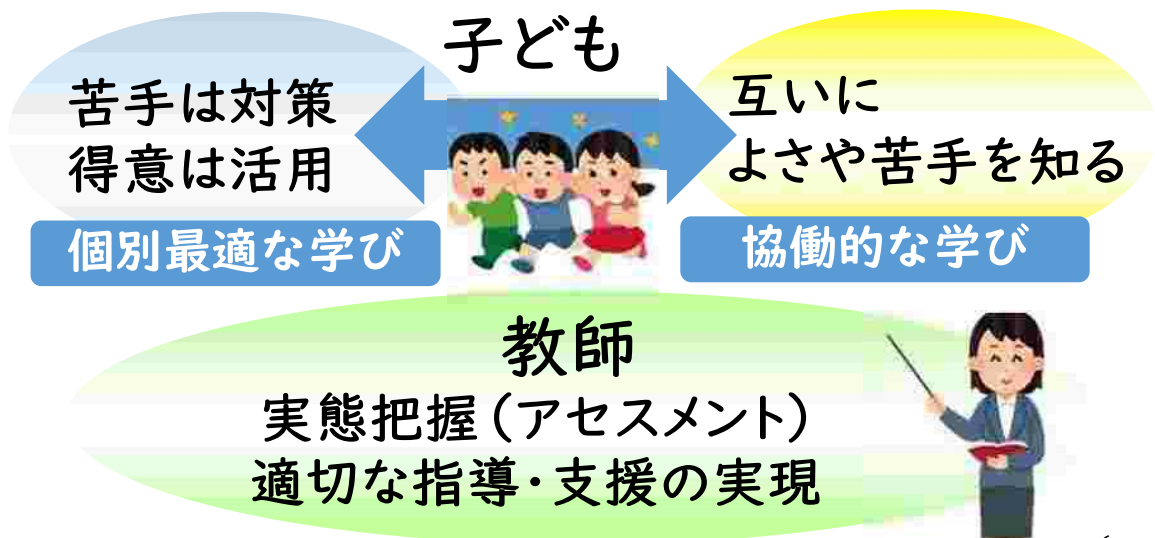
授業の中で活用する力(例)

5

## (1) 北九州市ステップアップメソッド(コグトレ)

特徴

コグトレをツールとして**集団**へもアプローチ



6